

「富山市の新しいまちづくり ～まちを元気にする路面電車～」

○ 学習のねらい

路面電車を活用した富山市の新しいまちづくりについて調べ、路面電車の南北接続によるまちづくりの取組を理解し、公共交通を活用した新しいまちづくりについて、主体的に考えることができる。

○ 対象学年・教科

6年生 社会科「震災復興の願いを実現する政治」

学習指導要領での位置づけ

内容(1)ア 次のよう知識及び技能を身に付けること。

(イ) 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。

アの(イ)の国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解することとは、国や地方公共団体の政治は国民生活と密接な関係をもっていること、それらの政治は国民主権の考え方を基本として、国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることなどを基に国や地方公共団体の政治の働きについて理解することである。

内容の取扱い(1)ウ アの(イ)の「国や地方公共団体の政治」については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組の中から選択して取り上げること。

○ 時間数

2時間

「公共交通を活用した富山市の新しいまちづくりについて調べよう」

新しい社会 6 政治・国際編 P60～P61

○ 準備物

プロジェクター、スクリーン、実物投影機

○ 授業概要

1時間目 富山港線(旧富山ライトレール)を活用した富山市の新しいまちづくりについて調べる。

2時間目 公共交通を活用した富山市の新しいまちづくりについて考える。

※ 公共交通の乗車体験をしたり、市役所出前講座を活用したりするのもよい。

授業の展開例（1時間目）

(1) ねらい

富山港線（旧富山ライトレール）を活用した富山市の新しいまちづくりについて主体的に調べようとする。

(2) 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
5分	<p>1. 富山港線（旧富山ライトレール）がつくられる前のJR富山港線が廃線の危機にあったことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の人口があまり変わらないのに、JR富山港線を利用する人がかなり減っている。 利用する人が半減して、経営がきびしくなったのではないかな。 自家用車を使う人が増えたからかな。富山市は軽自動車保有台数が30年で9.8倍になっているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> JR富山港線が運行している場所と右上の電車の写真で、JR富山港線に関心をもたせる。 教科書P60「富山港線の利用者数と沿線人口の変化」のグラフを提示し、廃線の危機に追い込まれた理由について考えさせる。 児童用パンフレットの資料を進んで活用している児童の取組を賞賛し、全体で共有する。
10分	<p>富山港線（旧富山ライトレール）を活用した富山市の新しいまちづくりについて調べよう。</p> <p>2. 富山港線（旧富山ライトレール）がどのようにしてつくられたのか話し合う。</p> <p>なぜ富山市は、JR富山港線を廃線にせず、富山港線（旧富山ライトレール）をつづけたのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> いつも通勤や通学に利用している人がいた。電車がなくなってしまうと、不便だから。 お年寄りの中には、車を運転できない人もいる。買い物や病院に行けなくなったらとても困ると思う。 岩瀬方面へ電車で行けなくなると不便だから、観光客が減ってしまうかもしれない。 自動車がどんどん増えると、環境によくないと考えたから。 	
15分	<p>富山港線（旧富山ライトレール）は、どのようにしてつくられたのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 『子育て支援（震災復興）の願いを実現する政治』の学習のように、人々の願いがあったと思う。 JR富山港線を残してほしいという市民の願いを市や市議会に要望したのが始まり。 市や市議会は、市民の願いを受け、公共交通の便利さと中心市街地の賑わいを考えて予算や計画を立てた。 国や県が補助金を出したり国が法律を整えたりするなどの協力があって2006年に完成した。 総額58億円もかかっている。国と県が半分あまり負担してくれたからできたんだね。 	
10分	<p>富山港線（旧富山ライトレール）が整備されたことで、どのような変化があったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日2,000人余りだった利用者数が2倍以上に増えた。休日は1,000人余りが3倍になった。 通勤や通学に便利になってから、利用する人も増えた。 通勤や通学以外の時間帯も増えているから、買い物等にでかける人が増えたと思う。 50才以上の利用者が増えている。お年寄りなど、車を運転できない人にとって利用しやすくなった。 観光施設が整備されて、観光客も増えた。 	
5分	<p>3. 富山港線（旧富山ライトレール）の整備の様子とその効果についてまとめをノートに書く。</p>	

■授業の展開例（2時間目）

（1）ねらい

路面電車の南北接続によるまちづくりの取組を理解し、公共交通を活用した富山市の新しいまちづくりについて主体的に考えることができる。

（2）授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
15分	<p>1. 富山港線（旧ライトレール）と市内電車が接続されたことによって、街はどのように変化したのか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">路面電車の南北接続によって、どのような変化があったのだろうか？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・富山港線（旧ライトレール）と市内電車を乗り換えずにまちの中心部や海に行くことができ便利になった。 ・駅の中に停留所ができたので、雨に濡れずに短時間で新幹線とかに乗り換えできるようになった。 ・特にお年寄りや身体の不自由な人が、乗り換えたり長い地下通路を歩いたりするのは時間がかかって大変だったけれど、楽になったと思う。観光客にとっても、分かりやすくなった。 ・車の運転ができない人も、病院や図書館、お店等へ出かけやすくなった。 ・接続前に比べて接続後の路線の数が増えているので、富山市のいろいろな場所に出かけやすくなった。利用する人が増えてにぎやかになったと思う。 ・駅前に大きなビルやホテルが建った。駅周辺に新しいお店がたくさんできてにぎやかになった。 ・中心市街地も、市立図書館や大型商業施設、高層マンションが建設され開発が進んでいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">富山市は、公共交通を活用してどのようなまちづくりを進めているのか考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童用パンフレットA4版（2枚目）や教科書P61「にぎわいをみせる富山市」を活用する。 ・ どの資料から考えたのか、自分の考えの根拠をはっきりさせて発言するよう促す。 ・ ICTを活用して資料を提示し、全体で確認しながら発言者の考えを聞くことができるようにする。 ・ 富山駅前や中心市街地の様子の変化が比較できる写真を提示すると効果的である。
20分	<p>2. 富山市が目指すまちづくりについてグループで話し合い、全体で意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山市は住居や職場やお店が散らばっていて、車がないと不便。公共交通を整備して、車の運転ができない人も便利に暮らせるまちにしようとしている。 ・富山市も高齢化が進んで、人口に占めるお年寄りの割合が増えている。車が運転できなくなっても公共交通を使って出かけることで、お年寄りは元気になるしまちもにぎやかになる。 ・富山市の1世帯当たりの乗用車の保有台数が多い。自動車は排気ガスの排出量も多いので、環境にもよくない。二酸化炭素の増加は地球温暖化にもつながるから、環境のことも考えてまちづくりを進めているのだと思う。 ・「くしとだんごのまちづくり」は、車を使わなくても生活できる暮らしだね。それは、環境や資源を守ることもつながっているよ。 ・富山市はSDGs未来都市になっているから、SDGsともつながるまちづくりをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童用パンフレットA3版（3枚目・4枚目）を活用する。 ・ グループ内で自由に意見を出し合うことで、友達への気づきを生かして自分の考えをもてるようにする。 ・ 全体の場で意見を交流することで、より多くの視点に気付かせ、まちづくりについての考えを深める。 ・ 3年生の学習を想起させ、「くしとだんごのまちづくり」の意味について確認する。
10分	<p>3. 公共交通を活用した富山市の目指すまちづくりを学習して、思ったことや考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山市は、お年寄りやばくたちの未来のことも考えて環境にやさしいまちづくりをしていることが分かった。これからますます富山市が住みやすくなっていくといいな。 ・公共交通を活用したまちづくりのアイデアはすごいと思う。でも大雪の時、新幹線は動いていだけれど、鉄道や路面電車が止まってしまう、たくさんの人が困っているニュースを見た。雪に強いまちづくりをしていく必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習して分かったことへの感想だけでなく、これからの富山市のまちづくりについても記述している子供の考えを紹介する。